平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月6日

上場会社名 株式会社 ゲオホールディングス　　上場取引所　東 名
コード番号 2681　URL http://www.geonet.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 遠藤 結蔵
問合せ先責任者　(役職名) 情報管理部長　(氏名) 三谷 康生　TEL 052-350-5711

四半期報告書提出予定日　平成26年2月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	194,427	0.7	8,432	△28.6	8,652	△26.7	4,240	△26.5
25年3月期第3四半期	193,152	0.8	11,810	△15.1	11,811	△14.8	5,768	△15.0

(注)包括利益　26年3月期第3四半期　4,278百万円　(△15.9%)　25年3月期第3四半期　5,087百万円　(△26.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	78.53	78.42
25年3月期第3四半期	106.45	106.31

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	126,804	60,060	46.9
25年3月期	121,353	57,978	46.9

(参考)自己資本　26年3月期第3四半期　59,492百万円　25年3月期　56,875百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	1,500.00	―	1,600.00	3,100.00
26年3月期	―	1,600.00	―		
26年3月期(予想)				16.00	―

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。平成26年3月期(予想)の期末配当金につきましては、当該株式分割を考慮した額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の年間配当金は、3,200円00銭(第2四半期末1,600円00銭、期末1,600円00銭)となります。

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	263,000	1.4	10,700	△33.0	11,000	△29.7	5,500	△34.4	101.86

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益金額を算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
②①以外の会計方針の変更	: 無
③ 会計上の見積りの変更	: 無
④ 修正再表示	: 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	54,382,800 株	25年3月期	54,382,800 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	386,300 株	25年3月期	386,300 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	53,996,500 株	25年3月期3Q	54,184,300 株

当社は平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

連結業績(平成25年４月１日～平成25年12月31日)

	当期間の実績（百万円）	前年同期間の実績（百万円）	前年同期比（%）	平成26年3月期業績予想(百万円)	進捗率（%）
売上高	194,427	193,152	100.7	263,000	73.9
営業利益	8,432	11,810	71.4	10,700	78.8
経常利益	8,652	11,811	73.3	11,000	78.7
四半期純利益	4,240	5,768	73.5	5,500	77.1

当第３四半期連結累計期間における当社グループの業績は、小売サービス事業メディアショップにおいて第３四半期会計期間に若干の減速が見られたものの、増収となり、同期間で過去最高の売上をあげることができました。

一方、当期間は従来から継続しております新規出店、移転を前提としたスクラップアンドビルド、既存店舗の改装に加え、新しいコンセプトの店造りを加速させる期と位置づけており、それらを順調にこなした結果として販売管理費が増加した結果、各利益につきましては減益となりました。

新規出店につきましては、ＤＶＤ・ＣＤ・ゲームなどのメディア商材を取扱う「ゲオショップ」を40店舗、リユース業態の「ジャンブルストア」「セカンドストリート」を33店舗出店いたしました。「ゲオショップ」との複合形態の見直しによる「ジャンブルストア」の小型店12店舗をはじめとする閉店もございましたが、期末時点で「ゲオショップ」が1,274店舗、リユース業態が365店舗、アミューズメント施設が51店舗となりました。

（事業・部門別の状況）

①小売サービス事業

「メディアショップレンタル部門」

当部門の売上は、期間を通して厳しい状況が続いておりますが、夏休み期間の復調と、完全子会社化したウエアハウスの業績寄与により、売上高は625億11百万円（前年同期比104.1%）となりました。

「メディアショップ中古品部門」

当部門の売上は、ここ最近のゲームを中心としたヒット作品が少ない状態を受けた減少傾向にあり、売上高は336億30百万円（前年同期比94.9%）となりました。

「メディアショップ新品部門」

当部門の売上は、取扱商材の多様化に加え、後半に人気シリーズゲームのリリースがあったこともあり、売上高は493億99百万円（前年同期比105.6%）となりました。

「リユースショップ」

当部門の売上は、既存店が底堅く推移する中、ほぼ計画通りの出店が行われ、売上高は215億80百万円（前年同期比112.4%）となりました。

②アミューズメント事業

当事業の売上は、ＧＡＭＥ部門やフィットネス部門で増収に向けた施策に成果がみられたものの、ＧＡＭＥ部門２店舗、ネットカフェ部門２店舗減少の影響を補うに至らず、売上高は88億98百万円（前年同期比98.6%）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における流動資産は57,843百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,676百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が4,024百万円減少した一方、商品が6,235百万円増加したことによるものであります。固定資産は68,960百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,774百万円増加いたしました。これは主に無形固定資産が746百万円減少した一方、有形固定資産が2,146百万円、敷金及び保証金が1,257百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、126,804百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,450百万円増加いたしました。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における流動負債は42,839百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,434百万円増加いたしました。これは主に未払法人税等が2,455百万円、１年内返済予定の長期借入金が786百万円減少した一方、買掛金が6,472百万円増加したことによるものであります。固定負債は23,905百万円となり、前連結会計年度末に比べ65百万円減少いたしました。これは主に社債が767百万円、資産除去債務が433百万円増加した一方、長期借入金が584百万円、その他676百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、66,744百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,368百万円増加いたしました。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は60,060百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,082百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益4,240百万円及び剰余金の配当1,727百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は46.9％（前連結会計年度末は46.9％）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予測につきましては平成25年５月９日に公表いたしました通期業績予想からの変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,102	20,077
売掛金	5,035	4,941
商品	18,695	24,930
その他	7,628	8,230
貸倒引当金	△293	△336
流動資産合計	55,166	57,843
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,660	16,635
その他（純額）	23,463	24,634
有形固定資産合計	39,124	41,270
無形固定資産	3,024	2,277
投資その他の資産		
敷金及び保証金	15,438	16,696
その他	12,548	12,496
貸倒引当金	△3,949	△3,781
投資その他の資産合計	24,038	25,412
固定資産合計	66,186	68,960
資産合計	121,353	126,804
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,386	18,858
1年内返済予定の長期借入金	10,689	9,902
未払法人税等	3,987	1,532
引当金	1,198	726
その他	11,143	11,819
流動負債合計	39,405	42,839
固定負債		
社債	1,684	2,451
長期借入金	13,852	13,267
引当金	255	250
資産除去債務	3,575	4,009
その他	4,603	3,926
固定負債合計	23,970	23,905
負債合計	63,375	66,744

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,603	8,603
資本剰余金	6,078	6,078
利益剰余金	42,300	44,812
自己株式	△334	△334
株主資本合計	56,648	59,160
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	227	331
その他の包括利益累計額合計	227	331
新株予約権	155	169
少数株主持分	946	397
純資産合計	57,978	60,060
負債純資産合計	121,353	126,804

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
売上高	193,152	194,427
売上原価	110,483	111,071
売上総利益	82,669	83,355
販売費及び一般管理費	70,859	74,922
営業利益	11,810	8,432
営業外収益		
不動産賃貸料	726	904
その他	589	393
営業外収益合計	1,316	1,298
営業外費用		
支払利息	377	274
不動産賃貸費用	391	437
その他	546	366
営業外費用合計	1,315	1,078
経常利益	11,811	8,652
特別利益		
負ののれん発生益	－	203
特別利益合計	－	203
特別損失		
減損損失	1,484	1,008
その他	23	25
特別損失合計	1,508	1,034
税金等調整前四半期純利益	10,302	7,821
法人税、住民税及び事業税	5,276	4,387
法人税等調整額	△116	△735
法人税等合計	5,159	3,651
少数株主損益調整前四半期純利益	5,142	4,169
少数株主損失（△）	△625	△70
四半期純利益	5,768	4,240

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	5,142	4,169
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△55	108
その他の包括利益合計	△55	108
四半期包括利益	5,087	4,278
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,716	4,345
少数株主に係る四半期包括利益	△629	△67

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間　（自平成24年４月１日　至平成24年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	小売サービス	アミューズメント	計				
売上高							
外部顧客への売上高	182,271	9,020	191,291	1,860	193,152	－	193,152
セグメント間の内部売上高又は振替高	29	0	29	31	60	△60	－
計	182,300	9,020	191,320	1,892	193,213	△60	193,152
セグメント利益又はセグメント損失（△）	13,245	△168	13,076	85	13,161	△1,351	11,810

（注）１．　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売事業及びその他のサービス事業を含んでおります。

２．　セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額△1,351百万円には、セグメント間取引消去△60百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,290百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．　セグメント利益又はセグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

重要性が乏しいため記載を省略しております。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間　（自平成25年４月１日　至平成25年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	小売サービス	アミューズメント	計				
売上高							
外部顧客への売上高	183,670	8,898	192,568	1,858	194,427	－	194,427
セグメント間の内部売上高又は振替高	39	0	39	25	64	△64	－
計	183,709	8,898	192,608	1,883	194,491	△64	194,427
セグメント利益	9,558	75	9,634	21	9,656	△1,223	8,432

（注）１．　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売事業及びその他のサービス事業を含んでおります。

２．　セグメント利益の調整額△1,223百万円には、セグメント間取引消去△64百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,159百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

営業活動による損益が継続してマイナスとなる店舗については帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

報告セグメントごとの計上額は、それぞれ「小売サービス」で457百万円、「アミューズメント」で551百万円となっております。

（のれんの金額の重要な変動）

重要性が乏しいため記載を省略しております。

（重要な負ののれん発生益）

重要性が乏しいため記載を省略しております。